

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 26 年 4 月 3 日 (2014.4.3)

【公表番号】特表 2013-543286 (P2013-543286A)
【公表日】平成 25 年 11 月 28 日 (2013.11.28)
【年通号数】公開・登録公報 2013-064
【出願番号】特願 2013-514449 (P2013-514449)
【国際特許分類】

H 0 4 N 19/50 (2014.01)

【 F I 】

H 0 4 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 2 月 14 日 (2014.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データを復号する復号方法であって、
対象ブロックに隣接する複数の符号化されたブロックの 1 以上の動きベクトル候補を予測動きベクトルとして記憶する記憶工程と、
上記 1 以上の動きベクトル候補のうち少なくとも 1 つの動きベクトル候補を識別する識別工程と、
識別された上記少なくとも 1 つの動きベクトル候補を用いて上記データを復号する復号工程とを含み、
上記記憶工程は、小サイズブロックに対する時間的に予測する動きベクトル候補として、より大きなサイズのブロックの動きベクトル候補を記憶することを特徴とする復号方法。

【請求項 2】

上記記憶工程は、空間的に予測する動きベクトル候補、時間的に予測する動きベクトル候補、時空的に予測する動きベクトル候補のうち、少なくとも 1 つを含む候補セットを記憶することを特徴とする、請求項 1 に記載の復号方法。

【請求項 3】

上記動きベクトル候補は、後続フレームを構成するブロックを復号する際、コロケート動きベクトルとして使用されることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の復号方法。

【請求項 4】

記憶された上記動きベクトル候補から重複する動きベクトル候補を削除する削除工程をさらに含むことを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の復号方法。